報道発表資料

皆 野 町

令和６年１０月２８日

報道関係各位

ミニ企画展の開催
『皆野の俳句～戦後編～　俳誌『雁坂』と俳人たち』

皆野町教育委員会では、町の俳句の歴史を紹介する３回目の企画展を開催します。

今回は、敗戦の年である昭和２０年に創刊され、昭和３１年まで刊行された俳誌『雁坂』を中心に、皆野の戦後俳句の歩みをたどります。

展示では『雁坂』１０年の歩みを３期に分け、俳誌や日記など約６０点の資料により、中央俳壇の動向と合わせて同誌の動きや俳人、そして作品を紹介します。

■ミニ企画展『皆野の俳句～戦後編～　俳誌『雁坂』と俳人たち』

□期　間　　１１月１２日（火）～２４日（日）
　　※１７日（日）は記念講演会のみ開催
□時　間　　午前１０時～午後４時
□場　所　　壺春堂（大字皆野１１６８番地）
　　秩父鉄道　皆野駅　徒歩７分
□入場料　　無料
□主　催　　皆野町教育委員会
□後　援　　兜太・産土の会

※詳細や講演会の概要はリーフレットをご覧ください。

【問い合わせ】
教育委員会事務局　社会教育担当　望月
電話：0494-62-4563　　FAX：0494-62-4571

ミニ
企画展

皆野の俳句～戦後編～
俳誌『雁坂』と俳人たち

1945　1946　1949

1951　1953　1955　1956

俳誌『雁坂』の表紙変化。当初は秩父の植物や動物が中心だったが、後に風景が主となり、昭和29年以降には横瀬の人形芝居の頭（清水武甲氏撮影）が表紙を飾った。『雁坂』タイトルの文字の向きにも注目。

期間　令和6年11月12日(火)～24日(日)

※ 17日(日)は講演会のみの開催となります(要申込)

時間　10時 ～ 16時

場所　壺春堂　※　金子医院隣　大字皆野1168番地

入場無料

主　催　皆野町教育委員会

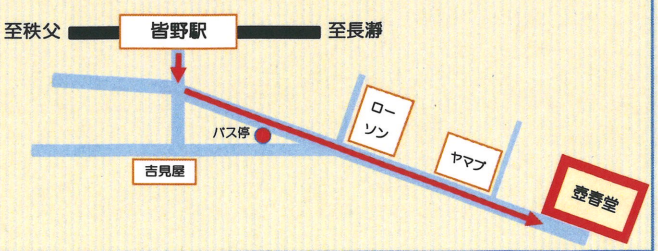
ＴＥＬ 0494-62-4563

後　援　　兜太・産土の会

※企画展の内容はデジタルミュージアムにも掲載します。
https://www.town.minano.saitama.jp/haikunomachi/exhibition/

会場地図

＊秩父鉄道「皆野駅」下車
徒歩７分

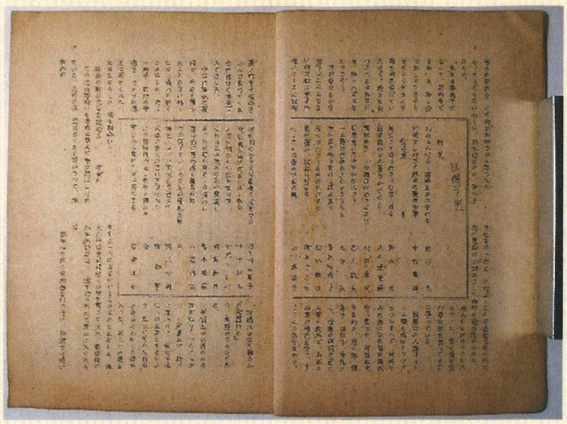


生業、自我、社会。一冊の俳誌に込められた戦後俳句史。

今回の展示では、敗戦の年に創刊され、昭和31年まで刊行された俳誌『雁坂』を中心に、皆野の戦後俳句の歩みをたどります。

同誌には秩父郡内外から多くの俳人が参加しましたが、「派閥も結社も超えた作句道場」を表明していたこともあり、同人や会員は『馬酔木』や『寒雷』、『風』、『鶴』などさまざまな中央俳誌に所属していました。また金子兜太をはじめとする中央俳人も客稿や作品を寄せ、『雁坂』は多様な作品と評論で賑わいを見せました。

本展では『雁坂』10年の歩みを3期に分け、中央俳壇の動向とともに同誌の動きや俳人、そして作品を紹介します。



水原秋櫻子を迎えた皇鈴山吟行会の記録
（『雁坂』昭和26年10月号）

伊昔紅（前列右から3人目）と『雁坂』一行
（昭和26年9月23日　於皇鈴山）

記念講演会

演　題　「社会をみつめた俳句」

講　師　田中亜美氏

１９７０年生まれ。９８年より金子兜太氏に師事。『海原』同人。現代俳句協会会員。日本文藝家協会会員。

日　時　令和６年11月17日（日）14時00分～

会　場　壺春堂

定　員　10名（定員超の場合抽選）

申　込　令和６年11月８日（金）までＥメールまたは電話で。

● Ｅメールの場合

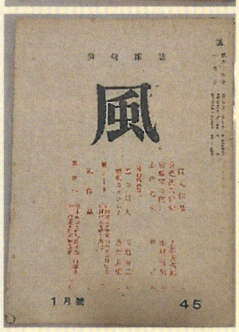
haiku.minano@gmail.com

※　題名を「講演会申込」とし、本文に①参加者氏名（最大２名まで）、②電話番号を明記してください。

● 電話の場合

０４９４－６２－４５６３

皆野町教育委員会事務局　社会教育担当　まで



『雁坂』と同時期の
中央俳誌